

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		救助活動事務		担当課	花園消防課	担当係	花園消防署	管理番号	61611
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	1	備えができて安全・安心なまちづくり		根拠法令 個別計画等	・消防法 ・高圧ガス保安法 ・消防組織法 ・銃砲刀剣類所持等取締法 ・消防力の整備指針 ・深谷市消防防規程			
	小項目	2	消防・救急体制の充実						
	主要プロジェクト								
事業概要		火災、交通事故及び水難事故をはじめとする各種災害から迅速に人命を救うため、特殊な装備や資器材を備えた車両及び高度で専門的な知識と技術を身に付けた隊員を配備し、各種災害現場において迅速・確実かつ安全な救助活動を遂行する。							
目的 ※何のために		市民の生命、身体及び財産を火災や各種災害から保護するとともに、被害の軽減を図ることを目的とする。							
対象 ※誰・何を対象に		市民の生命、身体及び財産。							
手段 ※どのように		複雑多様化する各種災害に対応するために、訓練、研修等を実施し技術、知識の向上を図るとともに、各種装備、資器材の点検、整備を実施し、常時使用可能な態勢を整えることで迅速な救助活動を遂行する。							
成果 ※何を求めるか		各種災害現場における救助活動時間の短縮、年間計画に基づく訓練の実施及び各種装備資器材の点検、整備状況を把握する。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・救助活動等災害対応業務					・		
		・救助資器材の維持管理業務					・		
		・各種救助訓練の立案、調整、実施に関する業務					・		
		・管内の警防計画業務					・		
		・管内における危険場所、箇所等の調査及び啓発					・		
		・救助活動記録票、統計及び即報の作成事務					・		

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0		
	決算額	0	0	0	0		
	財源内訳						
	国支出金	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
人件費	他特定財源	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0		
人件費	従事職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10		
	人件費相当試算※	776,192	786,956	819,639	819,639		
総事業費試算		776,192	786,956	819,639	819,639		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	救助出場件数（暦年）		目標値	件						
			実績値		65.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			救助出場件数のため目標値の設定に値しない。 / 出場件数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	訓練・研修回数		目標値	回	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00
			実績値		32.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年間訓練計画表に基づく訓練実施回数。（消防救助技術指導会訓練を除く。） / 実施回数						
	実績値の算出式									
活動指標 3	資器材点検実施率		目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			実績値		100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			100%の資器材点検を目標とする。 / 実施日／365日×100						
	実績値の算出式									
成果指標 1	資器材常時使用可能率		目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			実績値		100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			車載されている全資器材の常時使用可能率。 / 使用可能数／全資器材×100						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	訓練・研修回数は、年度当初に策定した年間訓練計画に基づき計画的に実施した。資器材点検は装備品を含めて日常・週間・月例点検を計画どおりに実施した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	車載している資器材は、救助隊が出場し救助活動を実施した事案はもとより、訓練時においても異常なく使用できた。そのため、使用可能率100%を達成できた。
			評価者 救助係長 町田敏之・野辺敏之

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	全国の消防職員等を対象とした全国消防救助シンポジウムや審査会会議などWeb会議システム等を活用することで、当直中での研修会や会議に参加することができた。一方、災害時に録画したウェアラブルカメラの動画を用いた各係内の活動内容検証はできているが、分署との検証、共有化のシステムが構築されていない。
			評価者 救助係長 町田敏之・野辺敏之

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	複雑多様化する災害により適切に対応するため、管内の災害種別ごとの発生傾向を分析し、傾向に応じた装備・資器材を充実させる。また、救助技術の調査・研究を行い、知識・技術を習得する。また、「ふかや花園プレミアムアウトレット」等での災害に対応できるよう、平日と土日・祝日等の渋滞を考慮したルートを調査研究し、火災等の災害を最小限に止めるため、活動に必要な計画を作成し対応訓練を実施する。
達成状況及び その効果	管内の災害種別ごとの発生傾向は建物等による事故が増加しており、装備・資器材は今のところ充足している。救助技術の調査・研究では、テクニカルロープレスキューやスウィフトウォーターの講習受講者の還元により、知識・技術の習得が深まっている。ふかや花園プレミアムアウトレット開業による渋滞等の影響はほぼ無かったが、署警防計画を策定し、警察とのテロ合同訓練を実施するなど、実災害に備えることができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	救助活動事務	担当課	花園消防課	担当係	花園消防署	管理番号	61611
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直しして継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>本事業は、市民の安全・安心を確保するうえで欠かすことのできない事業である。年間訓練計画に基づいた訓練や、自隊での訓練を年間を通じ実施し、隊員育成を図るとともに資機材の維持管理を行うことで組織力を強化、複雑多様化する災害に対し安全・確実・迅速に対応していく必要がある。また、救助工作車と資機材車の用途を併せ持つ支援車の導入が予定されていることから、新たな車両体制となった以降も災害対応に万全を期するよう各種計画の見直しや資器材の選定を進める必要がある。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	花園消防署長兼花園消防課長 小暮 誠				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	救助工作車及び資機材車に代わり、当消防本部初導入の支援車が運用となる見込みである。各種災害対応に万全を期するため、支援車に係る調査・研究を進め、運用方法や積載資器材の選定等を決定する。また、所属職員全員が事故なく使用できるよう、取扱について説明及び訓練を実施する。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	仕様の異なる車両を運用することで、これまでどおりの資器材を車載することはできない。今後は、管内の災害発生傾向を踏まえ必要な資器材更新の見通しを立てることが求められる。現行資器材の中には、購入から20年程度経過しているものもあり、計画的な更新を行うことで、活動時の万全を期する必要がある。

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 1	指標名	救助出場件数（暦年）
区分	活動指標 2	指標名	訓練・研修回数